

北陸総合通信局の齊藤局長が富山シティエフエムを訪問し、激励しました



富山シティエフエムの入口にて



島常務、穴場部長と意見を交換



リスナーのリクエストに応えるCDラック



編集機材の説明を受ける齊藤局長



富山シティエフエムのメインスタジオ

齊藤一雅北陸総合通信局長は、平成25年3月21日、富山市でコミュニティエフエム放送を行っている富山シティエフエムを訪問し、激励しました。

富山シティエフエム(平成9年7月開局)は、富山市とその周辺を放送エリアとするコミュニティエフエム局で、放送対象世帯は、143,000世帯です。

富山シティエフエムでは、地元富山でいきいきと活躍されている方々の紹介、郷土のむかし話の朗読など地元密着した番組や、市内各所からの取材中継に力を入れており、また、地元サッカークラブの試合中継も行っています。

今回の訪問では、コミュニティエフエム局ならではの取組について説明を受け、意見交換を行い、また、生放送前のスタジオを見学し、スタッフの方々の熱気を肌で感じることができました。

北陸総合通信局では、引き続き、コミュニティエフエム放送が地域から愛され、発展していくよう、様々な形で応援していきたいと考えています。